



届かない場所には大人の現実。



ガバナー通信

NO
6

国際ロータリー第2620地区
2021-2022年度ガバナー

小林 聡一郎



ガバナー挨拶

忘れてはいけない記憶があります。

「もうゆるしてください」。親に書いた悲痛な願いも聞き入れられることなく死なせてしまった、幼い女の子のいたいけなさに、多くの大人が涙しました。親と同世代の人達も、それより若い世代も、シニア世代も、自分達が手を差し出して助けてあげることができなかった現実に打ちのめされて、虚脱感のような感覚になりました。「この子ひとり救えないこの国は一体どうなっているのだ、どうしてこうなってしまったのだ」と。

家庭内暴力、幼児虐待…密閉された容器のように、扉に閉ざされた向こう側で起る事々は閉じ込められ、深刻な事態にならないければ表立ってきませんから、周囲の目が届かないことになり。社会全体の空気は「容赦のない社会」になつてきていて、ネット炎上もそう、いじめもそう、トコトン追いつめないと終わらない、容赦のなさが目立ちます。多分、そこにも大人の現実があるのでしょうか。加害する大人を許せるわけはありませんが、親が抱える現実も反映されてそういうことになっていると見なければ、問題が単純化され、「あいつが悪い許せない、厳罰にしろ」で終わってしまいます。溜飲は下げることができませんが事の本質は置き去りのままで、これからをどうしていくのか、という展望もいままになつてしまいます。社会の現実がそれほど切羽詰まっているとも言えますが。

ロータリーの奉仕活動の多くは幼児から青少年など次世代育成への奉仕ですが、3H (Health, Hunger, Humanity)運動の最初の活動は、1979年からのフィリピンにおける乳幼児600万人へのポリオワクチン接種でした。小児麻痺は日本でも1940年代から毎年約3000人から5000人の患者がでて、1960年には北海道で多くの子ども達が罹患し、鉄の肺といわれる人口呼吸器の中で治療を受ける写真も目にしてきました。重症化すると運動神経が侵され筋肉が萎縮し、呼吸ができなくなり死ぬことも少なくなかった病気で、日本からポリオ撲滅を働きかけてポリオプласの端緒を開いた山田彝(つね)さんは、インドでポリオ関連の会議から夜遅くホテルに戻った時に、小児麻痺の青年が地面を這っていた姿に心を痛め、それがポリオ撲滅の原動力になったと語っています。

1978年からの3H運動、1985年のポリオプラスから以後、多くの寄付と、動員したロータリアンや現地のボランティア、数えられないほどの多くのモノを投下して、ポリオ根絶にむかつてきました。2018年には世界で22人になり、2021年8月現在、2人ということですが、なかなか根絶には至っていません。アフガニスタン内戦やタリバンの国土掌握などの混乱がワクチン投与に影響を与えているとは聞きますが、そこには大人の現実が立ちはだかつています。犠牲になるのは、いつも弱く、幼い子ども達です。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

[国際ロータリー第2620地区 ガバナー月信 2021.12 / 疾病予防と治療月間号]

地区運営ビジョン

ロータリーの中核的価値観をロータリアンの行動に変換する。



地区戦略ビジョン

元気で魅力があり地域で存在感のあるクラブを目指してロータリーの価値を高めよう。

DO MORE ☆ RID2620 TOPICS

RLIパートI開催報告

10月17日(日)にRLIパートI No.1、10月31日(日)にRLIパートI No.2をZoomで開催いたしました。17日は、地区内35名、RI第2540地区(青森)5名、RI第2530地区(福島)1名、RI第2640地区(大阪南・和歌山)8名、計49名の受講者を迎え、6セッションを33名のディスカッションリーダーがファシリテートいたしました。31日は、地区内33名、RI第2540地区(青森)8名とオブザーバー1名、RI第2530地区(福島)1名、RI第2640地区7名、計49名を迎え、6セッションを32名のディスカッションリーダーがファシリテートいたしました。両日とも午前9



時から小林聡一郎ガバナーの挨拶に始まり、RLI日本支部ファシリテーター委員長の中村靖治氏、ファシリテーター副委員長の高野孫左エ門氏よりご挨拶をいただき、9時30分から各セッションに入りました。本年度は、他地区から10数名を受け入れ、他地区のメンバーと一緒に各セッションの話題に発言し、他地区のクラブの情報等、RLIの目的でありますロータリアンとしての成長、ロータリー観の確立を肌で感じていただけたと思います。受講生の皆さんがRLIで気付いた事をクラブに持ち帰り、クラブを活性化していただきたいと思います。(RLI運営委員会 委員長 寺戸 常剛/静岡RC)

第1回次期ガバナー補佐会議



11月7日(日)、グランディエールブuketーカイにて、第1回次期ガバナー補佐会議が開催され、小林聡一郎ガバナー、浅原諒蔵ガバナーエレクト、安間みち子バスターガバナー・次期地区研修委員長、中村皇積ガバナーノミニ、中尾均地区幹事、次期ガバナー補佐、同事務局の皆様、そして次期ガバナー事務所スタッフの計29名の皆様にご出席されました。小林ガバナーは、時代の変化に伴い私たちも変わるべく自分から情報を取りに行きましようとの挨拶され、浅原エレクトは、コロナの治まりと共にロータリー活動を活発にし、会員同士の親睦を

再開ましよう、またガバナー補佐にはリーダーシップを発揮して絆を深めていただきたいとの挨拶されました。安間次期地区研修委員長は、ガバナー補佐には自分の役割およびグループ内クラブを理解し、補助金の活用等必要な支援を行ってほしいとご指導いただきました。質疑応答では、次期ガバナー補佐の皆様より活発な質問、ご発言をいただき、素晴らしい会議になりました。その後、食事をしながら静かに懇親の場を楽しみました。(次期地区副幹事 稲葉雅之/伊東西RC)

こどもの城フェスタで「エンドポリオ・ロータリーデー」を開催



11月6日(土)、7日(日)の週末、山梨県最大の子育て支援イベント「2021こどもの城フェスタ」にあわせ、「エンドポリオ・ロータリーデー」として甲斐の郷RC、身延RC、山梨RC、甲府南RACと4クラブ合同のロータリーブースを開設しました。当日は晴天に恵まれ、このロータリーデーイベントには小林聡一郎ガバナーご夫妻をはじめ多くの県内ロータリアンが応援に駆け付けてくださいました。ブースでは、ロータリーマークを黄色に塗りつぶす塗り絵を楽しんでもらいながら、参加したお子さんの名前と、ポリオ活動に携わる人々に向けての応援メッセージを書いてもらいました。お子さんが塗り絵に集中する時間を使って、保護者の方には、あと2カ国で世界からポリオが無くなり、次世代の子供たちのポリオ接種を無くせることなどを理解してもらいながら、ポリオ根絶のための寄付を子供たちの寄付体験としてお願いし、快くご賛同いただきました。また、ブース内ではロータリー財団が作成した昨年度の県内各クラブの奉仕活動や、ロータリーの行ってきたエンドポリオの取り組みの紹介動画を流し、ロータリーの広報も進めました。2日間のポリオ募金36,705円、応援塗り絵は実に292枚と、多くの参加者と浄財をいただく事ができました。また、財団月間という事もあり、地区財団委員会委員の参加も依頼し、派遣された2名の財団委員によるポリオ根絶の意義の説明により、ロータリーとポリオの関わりをわかりやすく紹介できました。コロナ禍にあり、ロータリーの奉仕活動もままならない状況が続いています。多クラブ、ほかの団体との協働など、ロータリーデーという今回の取り組みは、多くのクラブが協力し合ってロータリーの奉仕活動を実現できる新たなチャレンジではないでしょうか。

(山梨第3グループガバナー補佐事務局 小野 隆／南アルプスRC)

RID2620ローターアクト「アクトの日」開催報告



9月から延期していたローターアクト地区行事の「アクトの日」を11月20日(土)に浜松市の中田島砂丘で開催いたしました。浜松RAC主催の下、中田島砂丘の成り立ちや、特徴、環境における問題点等の紹介後に、砂丘周辺の清掃活動を行いました。

コロナ禍が続き、地区内にある5つのローターアクトクラブ全てが集まり対面で活動するのが2年ぶりという事もあり、初対面のメンバーも多く、清掃活動を通し交流を深めることができました。アクトの日の活動には地区ローターアクト委員会の皆様、ローターアクト提唱クラブのロータリアンの方々も数多くご参加くださいました。

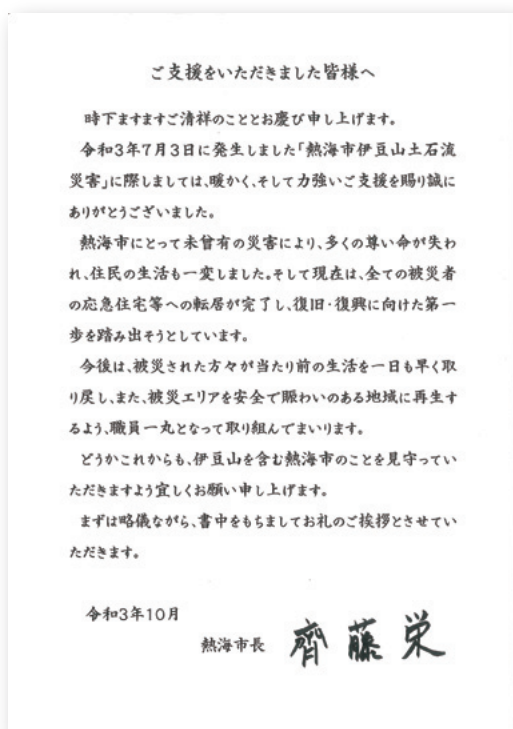
やるべき事はオンラインでも事足りますが、そこから生まれる付加価値はやはり対面の方が大きい気がします。今後状況が好転する事を願いながら、できる事を模索し工夫しながらローターアクト活動をしていきたいです。

(RA地区代表 山本有輝／静岡北RAC)



お知らせ

◆熱海市長からお礼状が届きました



熱海南ロータリークラブを通して、齊藤栄熱海市長から、熱海市伊豆山土石流災害への支援に対するお礼状が届きました。ぜひご一読ください。

◆「ロータリー川柳」を 継続募集中!



国際ロータリー第2620地区
公共イメージ向上・ICT委員会
委員長 古屋宏貴(甲府城北RC)



公共イメージ向上・ICT委員会は、静岡新聞・山梨日日新聞へ川柳とQRコード(R財団活動などの動画に誘導)を掲載する「ミニ広告」を掲載しております。基本的に静岡新聞へは毎月月初の月曜日付、山梨日日新聞へは毎週月曜日付に掲載されております。休刊日は翌火曜日付に掲載となります。広告へは会員のお名前、所属クラブが掲載されます。引き続き川柳を募集しておりますので、ぜひご応募ください。お題は「奉仕」「親睦」「利他」などロータリーを表現するもので、ロータリーの公共イメージの向上につながる作品。川柳はガバナー事務所へメール(21-22g.kobayashi@ri2620.gr.jp)またはFAX(055-270-1004)でお送りください。ご応募をお待ちいたしております。

◆会員増強維持・拡大委員会からのお知らせ



国際ロータリー第2620地区
会員増強維持・拡大委員会
委員長 三枝照二(山梨RC)

今年度当地区期首会員数(7月1日入会含む)は2820名で、10月末会員数は2863名(11月22日現在)となっております。

甲府シティ中央ロータリー衛星クラブは、ロータリークラブへの移行を目指して頑張っておられます。下期に嬉しいニュースをお伝えできると、大いに期待いたしております。ロータリー衛星クラブの設立に興味のあるクラブは、委員会から卓話にまいりますので、ぜひご連絡ください。



ヒューストンRI国際大会登録料の お知らせ

登録カテゴリー	2021年6月17日～ 12月15日	2021年12月16日～ 2022年3月31日	2022年4月1日～ 6月8日
クラブ会員、会員以外の方、または同伴者(31歳以上)	\$475	\$575	\$675
クラブ会員、会員以外の方、または同伴者(30歳以下)	\$125	\$175	\$225
5～18歳の同伴者	\$20	\$30	\$40
5歳未満の同伴者	無料	無料	無料
土曜日の「友愛の家」のみ	\$60	\$60	\$100

上記の料金はすべて米ドルでの表示となり、適用される税金が含まれています。オンライン(MyROTARY)での登録は、日本円でのお支払いが可能です。登録料は毎月15日までが\$475です。ぜひこの機会をご利用ください。

発行:ガバナー事務所

〒400-0072 山梨県甲府市大和町1-53-2F TEL/FAX 055-270-1004
E-mail 21-22g.kobayashi@ri2620.gr.jp URL <https://www.ri2620.gr.jp>

